

令和6年度 壱岐市立勝本中学校学力向上プラン

壱岐市立勝本中学校

学校教育目標 **豊かな心と向学心を持ち、夢に向かって主体的に生きる生徒の育成**

豊かな人間性と確かな学力を身に付けた子どもを育てる学校教育の実現

全職員が自校の課題を理解し、日々の授業改善につなぐ職員室

体験的な学習活動を取り入れた問題解決的な学習過程を確立する『第五版』

全国学力・学習状況調査及び県学力調査結果の分析及び、本校学力向上プランの見直し

令和5年度全国・県学力調査の結果から

【国語科】○県や全国と比較し「知識及び技能」及び「読むこと」に課題がある。

○「読むこと」に関しては、設問の意味が分からなかったり、問題文をきちんと読めていなかったりしている。

○「知識及び技能」の領域においては、言葉やその意味を知らずに、言葉が使えないため、正答率が低くなっている。

○「書くこと」に関しては、記述問題に対する苦手意識から無解答があったり、見当違いの誤答があったりする。

【数学科】○数学的な用語の定義や表現が定着していない。

○問題文で聞かれていることを読み取ったり理解したりすることが苦手である。

【英語科】○「読むこと」「書くこと」に課題がある。

○問題を読んで理解できずに、問題の中に見える数値や単語だけで推測して答えるなど、英文を読むことを苦手としている。

○言語の働きを正確に理解できていないため、一貫性のある文章が書けず、短文で終わる生徒がいる。

研究主題 **向学心を持ち、主体的に学習に取り組む生徒の育成
～生徒の主体的な思考や判断を大切にした授業実践を通して～**

○「主体的に学習に取り組む」とは

授業においては、「自ら課題を見つけ」、「自ら解決していく」学習活動。また、教師だけが、本時の目標を理解しているのではなく、生徒も本時の目標を理解し、授業に臨む学習活動。

家庭では、「させられる」宿題ではなく、「自分の将来のため」に行う学習活動。

○「主体的な思考や判断」とは、

生徒が「知識を相互に関連付け」たり、「生徒同士の協働を通じ」たりして、「より深く理解する」学習活動。

教師が、生徒に身に付けさせたい力を焦点化して授業に臨み、「ねりあげる」過程及び「ふりかえる」過程での、生徒の思考を活性化させる学習活動。

《学力向上に向けた基本方針》

各教科において、「ねりあげる」過程及び「ふりかえる」過程の充実を図り、調べてわかったことから、まとめにつなげるために、主体的に思考、判断する時間を確保し、教師は適切な指導、支援をする。

また、授業で思考力、判断力を身に付けさせ、家庭での学習の充実につなげさせることで、向学心を持ち、主体的に学習に取り組む生徒の育成を図る。

● 校内組織と取組

学力向上部

- 朝学習(勝中タイム)の計画的な実践
 - ・読み方レスキューの実施
 - ・コラム学習の実施
 - ・事前事後アンケートの実施、分析
- 家庭学習充実のための方策の提案
 - ・学習・生活習慣アンケートによる意識付け
- 学力調査結果の分析・活用
 - ・各教科部会との連携・実践

授業改善部

- 『第五版』「学びの習慣化メソッド」「授業分析シート」に基づいた授業の実践
 - ・「ねりあげる」過程の充実
 - ・「ふりかえる」過程の充実
 - ・授業分析シートを生かした共通実践
- ICT機器(タブレットや電子黒板等)の活用推進
- 研究授業・授業研究会の計画及び実施
 - ・学期に1度以上、研究授業・授業研究会を実施

「できた」「分かった」の笑顔があふれる授業

心身の成長

よい学級・よい学校

壱岐市の目標である「豊かな人間性と確かな学力を身に付けた子ども」の育成につなげる